

轟 と ど ろ

平成20年5月28日
5月号

本年度の教育目標は、

気づき、考え、行動し、生かす八小っ子の育成
～ かがやけ! 26の瞳 ～

本校の児童は、雄大な自然の中での暮らしが大きく影響し、13名ともに素直に明るく伸び伸び育っています。いつも同じメンバーで遊び、一緒に勉強していることもあって、とても仲が良く穏やかで笑顔の学校生活を送っています。反面、地域の方へ自分から挨拶をすることが苦手で、時として大人の人に対してタメ口や多人数の場で萎縮してしまうこともあったようです。加えて情報化社会の影響を本校の子どもたちも受け、日々の生活が都会化している現状にあります。つまり、自然の変化や人の心遣いや文章のおもむきに気づきにくく、気づいても関わろうとしないで大人に頼ってしまう都会の子どもたちと似た面が伺えるようです。

大切な子どもたちは、地域の宝そして日本の宝です。五家荘に生まれ育ったことを誇りとするために地域の人・文化・自然に浸らせる「ふるさとゼイタク体験」を存分味わわせながら、子どもたちの課題の解決を図り、世界に飛び立つ子どもたちに豊かな心と確かな学力を身につけさせたいと願っています。その願いを踏襲したものが、泉第八小学校の教育目標です。



学校訪問が無事に終了

5月14日(水)に八代市教育委員会による学校訪問がありました。子どもたちの良さと地域と一体となった取組が賞賛されました。

5・6年生エコセミナー 集団宿泊教室も全員元気に

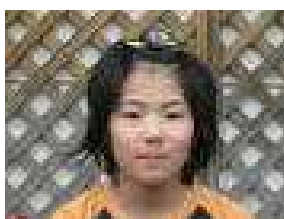
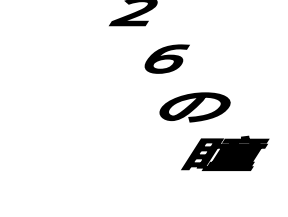
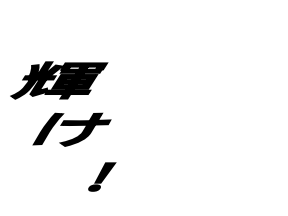
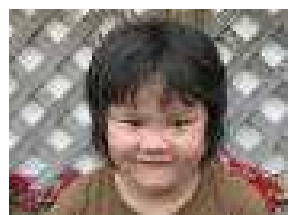


26日～27日の一泊二日で、56年生全員は泉町内の小学校と一緒に芦北へ勉強に出かけました。自然の家では、沢山のお友だちができました。晴天に恵まれたペーロン船体験では、見事に一着を勝ち取ることができました。チームワークもバッチリでした。

校長コラム

「あんなにしてやったのに『のに』がつくと愚痴が出る」・・・相田みつを

「あれだけ言ったのに・・・」「おいしい食事を作ったのに・・・」ということも生活の中ではしばしばあるものです。しかし、これは自分の立場の視点で捉えているため、その結果は当然出してくれているはずと一方的に期待しています。その人の状況・考えを十分踏まえないで、「・・・のに」を連発



歯科検診を実施

5月15日(木)に校医の尾上歯科の先生から検診を受けました。後日、その結果を配付します。治療は早めにしましょう。



すれば、その人に対して不満だけが残し、言葉は荒くなりストレスは溜まるばかりです。「何でうちの子は・・・何で内の主人は」というような言葉が蔓延する家庭には、優しい子どもは育たないと言われています。父が、母が、家族が相手を思いやった言動をすすめることで心豊かな子どもが育つのです。「のに」絶滅運動を!